



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年10月31日

上場会社名 ハリマ化成グループ株式会社

上場取引所 東

コード番号 4410 URL www.harima.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 吉弘

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経理グループ長 (氏名) 上辻 清隆

TEL 06-6201-2461

四半期報告書提出予定日 2023年11月7日

配当支払開始予定日

2023年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	45,272	3.5	607		304		406	
2023年3月期第2四半期	46,897	29.0	2,199	12.9	2,796	37.6	1,491	19.1

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,754百万円 (62.4%) 2023年3月期第2四半期 4,660百万円 (63.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	16.79	
2023年3月期第2四半期	59.52	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	100,506	41,610	37.9
2023年3月期	92,439	40,820	40.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 38,103百万円 2023年3月期 37,102百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		21.00		21.00	42.00
2024年3月期		21.00			
2024年3月期(予想)				21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	91,000	3.7	1,400		1,300		1,450		59.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	26,080,396 株	2023年3月期	26,080,396 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,846,843 株	2023年3月期	1,878,064 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	24,215,727 株	2023年3月期2Q	25,063,997 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(金額の表示単位の変更について)

当社の連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載していましたが、第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更しております。なお、比較を容易にするため、前第2四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10
参考資料	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、インフレ進行や金融引き締めなどの影響により、景気減速が継続しました。

日本経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したことにより、経済活動は正常化しつつあるものの、原燃料の高止まりや円安による物価上昇が経済活動に影響を及ぼしました。

このような環境下、当社グループの海外事業は、世界的な景気後退により欧米の粘接着剤用樹脂が低迷した他、中国の紙、板紙の生産量減少の影響を受け、売上高は前年同四半期に比べ減少しました。利益面は、エネルギー価格高騰などによる製造原価の上昇により、前年同四半期に比べ減少しました。

国内事業は、市場価格が上昇したこともあり、売上高は前年同四半期並となりましたが、利益面では製造原価の上昇により、前年同四半期に比べ減少しました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は452億7千2百万円となり、前年同四半期に比べ16億2千5百万円(△3.5%)の減収となりました。

利益面では、エネルギー価格高騰などによる製造原価上昇もあり、営業損失は6億7百万円(前年同四半期は営業利益21億9千9百万円)となりました。経常損失は3億4百万円(前年同四半期は経常利益27億9千6百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は4億6百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益14億9千1百万円)となりました。

(前年同四半期比)

(単位：百万円)

	当第2四半期(A)	前第2四半期(B)	増減額(A-B)	増減率(%)
売上高	45,272	46,897	△1,625	△3.5
営業利益 又は損失(△)	△607	2,199	△2,806	—
経常利益 又は損失(△)	△304	2,796	△3,101	—
親会社株主に帰属 する四半期純利益 又は純損失(△)	△406	1,491	△1,898	—

当社グループの部門別経営成績の概況は次の通りであります。

① 樹脂化成品

(単位：百万円)

	当第2四半期(A)	前第2四半期(B)	増減額(A-B)	増減率(%)
売上高	10,438	9,343	1,095	11.7
営業利益 又は損失(△)	25	△111	137	—

売上高は、市場価格が上昇したことにより104億3千8百万円と、前年同四半期に比べ10億9千5百万円(11.7%)の増収となりました。営業利益は2千5百万円(前年同四半期は営業損失1億1千1百万円)となりました。

- 塗料用樹脂は、物価上昇の影響から塗料需要が低迷し販売数量は減少しましたが、原材料価格高騰分を販売価格へ転嫁できたことから、売上高は前年同四半期並となりました。
- 印刷インキ用樹脂は、商業用印刷や新聞などに使用されるインキ市場縮小が継続する中、原材料価格高騰分を販売価格へ転嫁できたことから、売上高は前年同四半期に比べ増加しました。
- 合成ゴム用乳化剤は、タイヤ生産量の減少に伴う合成ゴム需要の低迷により販売数量は減少しましたが、原材料価格高騰分を販売価格へ転嫁できたことから、売上高は前年同四半期に比べ増加しました。

② 製紙用薬品

(単位：百万円)

	当第2四半期(A)	前第2四半期(B)	増減額(A-B)	増減率(%)
売上高	11,613	12,170	△557	△4.6
営業利益	643	856	△213	△24.9

売上高は、116億1千3百万円と前年同四半期に比べ5億5千7百万円(△4.6%)の減収となりました。営業利益は、6億4千3百万円となり、原燃料価格など製造原価上昇の影響を受け、前年同四半期に比べ2億1千3百万円(△24.9%)の減益となりました。

- ・紙力増強剤は、世界的な景気後退の影響を受け、段ボール原紙の需要が減少傾向にあり、国内、中国とも売上高は減少しました。
- ・サイズ剤は、国内では、新聞用紙、印刷・情報用紙、段ボール原紙の需要が低迷したことにより、売上高は減少しました。米国では、紙、板紙の生産量が前年同四半期に比べ減少しましたが、原材料価格高騰により市場価格が上昇したことから、売上高は増加しました。

③ 電子材料

(単位：百万円)

	当第2四半期(A)	前第2四半期(B)	増減額(A-B)	増減率(%)
売上高	5,562	3,780	1,781	47.1
営業利益	223	159	64	40.1

売上高は、はんだ材料事業の買収による事業拡大で55億6千2百万円と、前年同四半期に比べ17億8千1百万円(47.1%)の増収となりました。営業利益は2億2千3百万円となり、前年同四半期に比べ6千4百万円(40.1%)の増益となりました。

- ・はんだ付け材料は、事業買収により海外事業が拡大しました。また、自動車生産も回復傾向にあり、売上高は大きく増加しました。
- ・熱交換器用ろう付け材料は、自動車生産が回復傾向にあり、売上高は増加しました。
- ・半導体用機能性樹脂は、パソコン、スマートフォン需要の落ち込みにより、売上高は減少しました。

④ ローター

(単位：百万円)

	当第2四半期(A)	前第2四半期(B)	増減額(A-B)	増減率(%)
売上高	15,809	20,463	△4,653	△22.7
営業利益 又は損失(△)	△1,158	1,616	△2,774	—

売上高は、世界的な景気後退に伴う需要減少により、158億9百万円と、前年同四半期に比べ46億5千3百万円(△22.7%)の減収となりました。営業利益は、エネルギー価格の高騰や世界的なインフレの影響で製造原価が上昇したことにより、11億5千8百万円の営業損失(前年同四半期は営業利益16億1千6百万円)となりました。

- ・粘接着剤用樹脂分野は、世界的な景気後退に伴う通販市場の低迷や顧客での在庫調整により、宛名用ラベルシールに使用される粘着剤用樹脂の需要が減少しました。また、路面標示塗料用樹脂や合成ゴム用乳化剤の需要も低迷したことから売上高は減少しました。
- ・印刷インキ用樹脂分野は、情報のデジタル化を背景に需要の低迷が継続する中、景気後退の影響もあり、主に欧州、北米、アジアでの販売が減少し、売上高は減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	2023年9月末(A)	2023年3月末(B)	増減額(A-B)	増減率(%)
流動資産合計	55,554	49,791	5,762	11.6
固定資産合計	44,952	42,647	2,304	5.4
資産合計	100,506	92,439	8,067	8.7
流動負債合計	48,796	41,656	7,139	17.1
固定負債合計	10,098	9,961	136	1.4
負債合計	58,895	51,618	7,276	14.1
純資産合計	41,610	40,820	790	1.9
負債純資産合計	100,506	92,439	8,067	8.7
自己資本比率(%)	37.9	40.1	—	△2.2

当第2四半期連結会計期間末における総資産は前期末に比べ80億6千7百万円増加し、1千5億6百万円となりました。増減の主な内容は以下の通りです。

(流動資産) 受取手形及び売掛金が23億2千万円増加し、原材料及び貯蔵品が22億1千7百万円増加しております。

(固定資産) 機械装置及び運搬具が11億5千2百万円増加し、投資有価証券が9億6千万円増加しております。

(流動負債) 支払手形及び買掛金が10億9千1百万円増加し、短期借入金が56億2千3百万円増加しております。

(固定負債) 長期借入金が1千4百万円増加しました。

(純資産) 為替換算調整勘定が15億3千1百万円増加したことにより純資産は増加しましたが、借入金の増加に伴い負債も増加したことで、自己資本比率は37.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期(2023年4月1日から2024年3月31日)の業績予想につきましては、2023年7月31日の第1四半期決算発表時の公表数字を修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,300	6,801
受取手形及び売掛金	22,313	24,634
商品及び製品	8,280	8,407
原材料及び貯蔵品	10,646	12,864
その他	2,353	2,962
貸倒引当金	△103	△115
流動資産合計	49,791	55,554
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,452	8,616
機械装置及び運搬具（純額）	8,626	9,778
その他（純額）	10,039	10,090
有形固定資産合計	27,118	28,485
無形固定資産		
顧客基盤	4,046	3,953
その他	1,181	1,211
無形固定資産合計	5,227	5,165
投資その他の資産		
投資有価証券	8,966	9,927
退職給付に係る資産	—	2
その他	1,348	1,385
貸倒引当金	△13	△14
投資その他の資産合計	10,301	11,301
固定資産合計	42,647	44,952
資産合計	92,439	100,506

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,292	11,384
短期借入金	18,349	23,973
1年内返済予定の長期借入金	7,099	7,893
未払法人税等	255	356
役員賞与引当金	96	—
訴訟損失引当金	492	606
その他	5,071	4,582
流動負債合計	41,656	48,796
固定負債		
長期借入金	6,185	6,200
長期預り保証金	500	500
役員退職慰労引当金	14	15
退職給付に係る負債	89	—
資産除去債務	39	39
その他	3,132	3,343
固定負債合計	9,961	10,098
負債合計	51,618	58,895
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,012	10,012
資本剰余金	9,748	9,743
利益剰余金	19,015	18,101
自己株式	△1,793	△1,760
株主資本合計	36,983	36,096
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51	396
為替換算調整勘定	150	1,681
退職給付に係る調整累計額	△83	△70
その他の包括利益累計額合計	118	2,007
非支配株主持分	3,717	3,507
純資産合計	40,820	41,610
負債純資産合計	92,439	100,506

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月 1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年9月30日)
売上高	46,897	45,272
売上原価	36,385	36,945
売上総利益	10,512	8,326
販売費及び一般管理費	8,313	8,934
営業利益又は営業損失(△)	2,199	△607
営業外収益		
受取利息	28	140
受取配当金	53	49
不動産賃貸料	18	19
為替差益	19	—
持分法による投資利益	625	251
その他	80	249
営業外収益合計	825	711
営業外費用		
支払利息	156	239
為替差損	—	124
その他	71	44
営業外費用合計	227	409
経常利益又は経常損失(△)	2,796	△304
特別利益		
投資有価証券売却益	—	80
特別利益合計	—	80
特別損失		
投資有価証券評価損	43	—
訴訟損失引当金繰入額	—	20
特別損失合計	43	20
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,753	△245
法人税、住民税及び事業税	481	107
法人税等調整額	573	△49
法人税等合計	1,055	57
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,697	△302
非支配株主に帰属する四半期純利益	206	103
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,491	△406

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月 1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	1,697	△302
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△186	344
繰延ヘッジ損益	△56	—
為替換算調整勘定	3,208	1,699
退職給付に係る調整額	△1	13
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	2,962	2,057
四半期包括利益	4,660	1,754
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,059	1,481
非支配株主に係る四半期包括利益	601	272

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月 1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,753	△245
減価償却費	1,159	1,311
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△40	△96
貸倒引当金の増減額(△は減少)	19	1
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△80	△76
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	—	△2
受取利息及び受取配当金	△81	△190
支払利息	156	239
為替差損益(△は益)	△66	85
持分法による投資損益(△は益)	△625	△251
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	△2
投資有価証券売却損益(△は益)	0	△80
売上債権の増減額(△は増加)	△2,430	△1,514
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,713	△1,553
仕入債務の増減額(△は減少)	2,442	644
訴訟損失引当金の増減額(△は減少)	—	20
投資有価証券評価損益(△は益)	43	—
その他	△1,016	△493
小計	519	△2,205
利息及び配当金の受取額	90	200
利息の支払額	△153	△242
法人税等の支払額	△328	△12
営業活動によるキャッシュ・フロー	128	△2,259
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の純増減額(△は増加)	1,327	—
有形固定資産の取得による支出	△1,930	△1,684
有形固定資産の売却による収入	1	6
顧客基盤の取得による支出	△4,060	—
無形固定資産の取得による支出	△783	△92
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却による収入	0	158
貸付金の回収による収入	20	0
その他	△30	△48
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,457	△1,663
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	6,512	5,137
長期借入れによる収入	—	1,200
長期借入金の返済による支出	—	△1,200
配当金の支払額	△478	△508
非支配株主への配当金の支払額	△177	△493
預り保証金の返還による支出	△27	△3
自己株式の取得による支出	△394	△0
その他	△23	△160
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,412	3,971
現金及び現金同等物に係る換算差額	673	406
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	757	453
現金及び現金同等物の期首残高	5,338	6,218
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,096	6,672

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	樹脂化成品	製紙用薬品	電子材料	ローター	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	9,343	12,170	3,780	20,463	45,758	1,065	46,824	73	46,897
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	134	122	—	712	968	89	1,057	△1,057	—
計	9,477	12,292	3,780	21,176	46,727	1,154	47,881	△984	46,897
セグメント利益又は損失(△)	△111	856	159	1,616	2,521	△22	2,498	△299	2,199

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	樹脂化成品	製紙用薬品	電子材料	ローター	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	10,438	11,613	5,562	15,809	43,424	1,862	45,286	△14	45,272
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	353	—	—	421	774	112	887	△887	—
計	10,792	11,613	5,562	16,230	44,199	1,975	46,174	△902	45,272
セグメント利益又は損失(△)	25	643	223	△1,158	△265	△25	△290	△316	△607

(注1)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に「不動産管理事業」等を含んでおります。

(注2)セグメント利益又は損失(△)の調整額は、棚卸資産の調整額等が含まれております。

(注3)セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失と調整を行っております。

2024年3月期 第2四半期決算短信
別紙ご参考資料

1. 設備投資額

	2023/3期		2024/3期	
	第2四半期(実績)	通期(実績)	第2四半期(実績)	通期(計画)
連結	※64.1億円	※83.6億円	16.1億円	23.0億円

※ヘンケル社より譲受資産含む。

2. 減価償却実施額

	2023/3期		2024/3期	
	第2四半期(実績)	通期(実績)	第2四半期(実績)	通期(計画)
連結	11.5億円	24.6億円	13.1億円	25.0億円

3. セグメント別売上高

	2023/3期		2024/3期	
	第2四半期(実績)	通期(実績)	第2四半期(実績)	通期(計画)
樹脂化成品	93.4億円	192.5億円	104.3億円	209.0億円
製紙用薬品	121.7億円	249.3億円	116.1億円	239.0億円
電子材料	37.8億円	92.4億円	55.6億円	112.0億円
ローター	204.6億円	387.9億円	158.0億円	310.0億円
その他	10.6億円	25.5億円	18.6億円	40.0億円
調整額	0.7億円	△2.7億円	△0.1億円	0.0億円
合計	468.9億円	945.1億円	452.7億円	910.0億円

4. 海外売上高

	2023/3期		2024/3期	
	第2四半期(実績)		第2四半期(実績)	
	金額	比率	金額	比率
南北アメリカ	111.1億円	23.7%	99.8億円	22.0%
欧州	91.4億円	19.5%	82.7億円	18.3%
アジア、オセアニア	91.5億円	19.5%	80.0億円	17.7%
合計	294.0億円	62.7%	262.6億円	58.0%